

ガジュマルの聲



<教育目標>
と：徳を積み
み：未来に向かって
え：英気を養う

発行
五島市立富江小学校
校長 坂本 憲司

2学期を振り返って

8月26日から始まった2学期。体をちょっと動かしただけで目まいがしそうな酷暑が続き、「今年は、秋は来るのだろうか…」と思ったものでした。富江小学校の子どもたちは、暑さ寒さに関係なく自分たちがすべきことに取り組み、着実に力を付けました。そのことは、各担任が綴った通知表の所見にはっきりと表れています。印象に残った所見を御紹介します。

1. 学習面

- (1)「算数の予習をしたいから、下の教科書を貸して下さい。」と言ってきた。
- (2)「0は個数に入れるか?いや、入れない!」とつぶやきながら、問題に取り組んでいた。
- (3)難しい問題を提示した時には目を見開き、「絶対に解いてやるぞ!」という気持ちが表情に表れていた。正解した時には、求め方を興奮しながら熱く語ってきた。

2. 生活・行動面

- (1)「できない!」と逃げることもあったが、「落ち着いたらできるよね。」と自分を励ましながらチャレンジしていた。
- (2)「言っていることと悪いこと」の学習をしてから、友だちとの関わりの中で、「あっ」と立ち止まって考えることができるようになった。
- (3)自分の言葉づかいや口調に課題があると自覚し、改善しようと努力していた。友だちへの関わり方が「注意」から「アドバイス」へと変わり、成長した。
- (4)嫌な思いをした時でも、自分たちで気持ちを伝え合い、お互いが納得できるような解決方法を選ぶようになった。
- (5)給食当番では素早く白衣に着替え、いつも静かに友だちを待っていた。配膳・片付けを協力して行っていた。
- (6)「面白い本があるから、ついつい何冊も読んでしまう。」と言いながら、読書を楽しんでいた。

元気で明るいあいさつ・縦割り掃除の頑張り・授業中の学習態度。いずれも昨年度に比べて向上しています。お子様と一緒に通知表の所見を確認し、頑張りや成長を褒め、課題については勇気付けの言葉かけをお願いします。

冬休みの過ごし方について

冬休みを迎えるにあたり、気になっていることが一つだけあります。それは、子どもたちの公共施設の使い方についてです。いくつか事例をお知らせします。

●公民館や支所施設で騒ぐ

- ・図書館で、他の利用者がいるのに騒ぐ。
- ・スマホの動画を、大音量で視聴する。

公共の場におけるモラル・マナーについて、各学級でも指導いたしました。「自分の振るまいが人に迷惑をかけていないか」考えながら行動できるようになってほしいと思います。

お世話になりました

4月から3組担任を務めてきた川口奈津美講師が、2学期末をもって任用期間を終えます。

富江小学校では、子どもたちと一緒に過ごす中で、たくさんのことを学ぶことができました。とても充実した毎日でした。来年春から、中学校社会の教師として新たなスタートを切ります。富江小学校で学んだことを、これから出会う中学生のために還元していきたいと思います。

お世話になりました。 川口奈津美

皆様、良い年をお迎え下さい!